

第44回 三条市小中一貫教育推進委員会 会議録

1 開会宣言 令和7年6月26日(木) 午前10時00分

2 場 所 三条市役所栄庁舎大会議室

3 出席状況

(1) 出席委員 雲尾 周 委員長、
渡邊 伸明 委員、丸山 哲也 委員、田村 和弘 委員、
長 滋徳 委員、桐生 聡 委員、関 拓也 委員、
高橋 雅博 委員、須藤 剛司 委員、住吉 英明 委員、
鮮良 靖宏 委員、中村 正之 委員、倉田 孝英 委員、
浅間 正直 委員、村田 秀雄 委員、熊倉 文一 委員
佐藤 裕之 委員、金子 佳奈子 委員 (18人)

(2) 欠席委員 高橋 喜一郎 副委員長 (1人)

(3) 事務局職員

教育長 高橋 誠一郎

教育部長 平岡 義規

教育総務課長 野水 裕晃

子育て支援課長 小林 正芳

学校教育課長 相田 覚

教育センター長 樋口 信英

統括指導主事 畑 宏幸、指導主事 秦野 真一、
指導主事 武石 和仁、指導主事 藤井 佳介、
特別指導主事 和田 薫、特別指導主事 浅井 弘行

4 傍聴人 なし

5 会議次第

(1) 開会

(2) 開会のあいさつ

(3) 報告

(4) 議事

(5) その他

(6) 閉会のあいさつ

(7) 閉会

6 会議の経過及び結果

(事務局 武石)

役職の交代があった委員には、委嘱状を配布いたしました。後任の委員は、前任の在任期間を担っていただくこととなります。どうぞよろしくお願いいたします。

(1) 開会

(2) 開会のあいさつ

(雲尾委員長)

世の中、米不足ということで、卵だとか手に入らないとかいうことがございますけれども、三条市の学校給食においてはJ A南蒲の御協力のもと、小中通して米飯給食がされてるところであります。小中一貫教育も、子どもたちがしっかりと三条南蒲のお米を食べて育っているというのは一つの成果でもあるかと思えます。皆さんも、この会議が終わったら帰られて給食になろうかというところですけども。

新潟市ですと今、中学校スクールランチを食缶給食に変えるという話でもめていて、特に私が学校運営協議会に参加している内野中学校ですが、今年805名の生徒がいますので、どうやって短い時間にやるのかというのは非常に混乱を来していて、エレベーターを作るのが2年後だという話なんです。何とか乗り切ってという話になっていますけど、そのようなことも様々ございますが、いろんな面で小中一貫教育を進めていけるよう、本日も活発な議論の程よろしくお願いいたします。

<自己紹介 雲尾委員長から順に委員の自己紹介、事務局の自己紹介>

(3) 報告

(事務局 畑)

出席者数の確認 出席者19人の委員の内、18人の委員の出席で、規定により半数以上の出席がありますので、本会議は成立しております。

第43回小中一貫教育推進委員会検討内容(概略)

- ・事務局 畑が説明(資料No.1、別紙)

(雲尾委員長)

ただいまの説明につきまして御意見のある方はございますでしょうか。

[質疑なし]

(4) 議事

① 令和7年度の小中一貫教育の推進について

- ・事務局 畑が説明(資料No.2-1、別紙)

② 小中一貫教育の推進及びコミュニティ・スクールに関わるスケジュールについて

- ・事務局 畑が説明(資料No.2-2、別紙)

(雲尾委員長)

それでは、スケジュールについて御質問や御意見がありましたらお願いします。

[質疑なし]

それでは、今年度の小中一貫教育について、事務局からの説明のとおり進めていくということで、御了承いただけますでしょうか。

(了 承)

予定した議題は以上になりますが、事務局、他に何かありますでしょうか。

[事務局：なし]

ご協議ありがとうございました。以上で協議を終了し、進行をお返しします。

(5) その他

今年度の各学園の小中一貫教育について、グランドデザインに沿って御紹介いただきたいと存じます。恐れ入りますが各学園2分程度で、今年度の特色と変更点について御紹介ください。では、学園代表の方よろしくお願いします。三条嵐南学園から順番にお願いいたします。

- ・各学園の小中一貫教育推進リーダーから学園の取組内容を説明
各学園の取組について御質問がございましたらお願いいたします。

(田村委員)

全体を通した意見です。各学園のグランドデザインの中で「キャリア教育の充実」という文言や内容があり、各学園が、その成果を見られていると思います。三条市「小中一貫教育アンケート」の項目の、「地域とのつながり」が関連しているとは思いますが、キャリア教育についてももう少し特化したアンケートがあってもよいのかなと思っておりますが、お考えがあったら教えていただきたいです。

(事務局 畑)

御質問いただきありがとうございます。キャリア教育については今年度重点的に取り組んでいます。今後、評価項目については、経年変化の比較等もあり、すぐには変更できるものではありませんので、数年かけて状況を見ながら入れていけたらと考えております。すぐ変更というのは、ちょっとまだ考えていないところであります。よろしいでしょうか。

(田村委員)

はい。ありがとうございました。

(事務局 武石)

参加された委員の皆様から、小中一貫教育に関しまして、御意見、御質問等がございましたらお出しいただきたいと存じます。

[意見・質疑なし]

(6) 閉会のあいさつ

(田村委員 (代理))

高橋副委員長に代わりまして閉会のあいさつをさせていただきます。まずもって、皆様御多用のところ、発表であったり御意見をいただきありがとうございます。

私は、平成23年から25年まで小中一貫教育推進リーダーをさせていただいた経験があります。小中一貫教育を通して子どもたちの持っている力をどう高めるかということがすごく大事だということです。当時、私は、第三中学校に勤務していましたが、小学校の先生方といろいろな議論をしながら、成果・課題を検討し、頑張ってきた経験があります。

ここで大事なのは、本日も各学園がグランドデザインに沿っていろんな取組を紹介しましたが、成果と課題を明らかにしながら、子どもたちのためにより良い小中一貫教育を創っていくことだと感じた次第です。また、今年度はキャリア教育を三条市からバックアップしていただいております。ご支援をいただいて、当校も今まで職場体験1日だったところを今年度2日間に拡大しております。その中で学びがさらに深まると思っております。

キャリア教育の中の、「故郷に誇り持つ」とか「郷土への愛着」といったところも、私は大事なキャリア教育だと考えてます。そのために、やはり地域の皆様のお力添えがなくてはなりません。また、キャリア教育の中で、「人間関係形成・社会形成能力」がありますが、例えば、子どもたちは一緒に地域の方々といろいろな活動をすると思いますが、その中で地域の皆様から温かい声をかけられたということが、とても大事なことだと思っています。私事ですが、地域の方に声をかけられた回数と、地域に貢献した感覚というのを研究した時があります。明らかに相関がありますので、いろいろな活動を地域の方と行うと思いますが、ぜひ子どもたちのためにプラスのメッセージをかけていただくと大変ありがたいと思っています。

三条市の子どもたちのために、皆様と成果と課題を検証して子どもたちを育てていきたいと思っています。1年間よろしくお願ひしたいと思っています。

(事務局 武石)

雲尾委員長並びに各委員の皆様、本日は誠にありがとうございました。厚く御礼を申し上げますとともに、長時間にわたりまして御参加いただきましたことに、重ねて御礼申し上げます。ありがとうございました。

次回は11月ごろに開催を予定しております。日時が決まり次第、御連絡申し上げます。

最後に事務連絡をいたします。本日提出書類をお持ちいただいた方で、まだ書類の提出をいただいていない方は、会の終了後に御提出をお願いいたします。

以上をもちまして第44回三条市小中一貫教育推進委員会を終了いたします。お帰りの際は、事故等に十分気を付けてお帰りください。本日は大変ありがとうございました。

(7) 閉会 午前10時55分